

集合住宅等の大型浄化槽の高度化設備改修や交換を支援します。

補助対象者



事業対象となる浄化槽についての浄化槽管理者
(多くの場合、浄化槽が設置された建物の所有者や管理者)

募集時期

平成31年4月頃 (予定)

補助要件

- ・ 51人槽以上の既設合併処理浄化槽に係る
省CO₂型高度化設備改修
(高効率ブロウ・インバータ制御装置等)
- ・ 一定基準の既設合併浄化槽から、省CO₂型浄化槽へ交換
交換前：平成12年以前に設置された、建築基準法に定める旧構造基準の浄化槽
または新構造基準の浄化槽（ブロウ使用で60人槽以上）
交換後：構造や本体のコンパクト化からエネルギー効果の高いと見込まれる浄化槽

補助内容

- ・ 大型浄化槽の改修、交換の費用の1/2を補助

このような
地方公共団体、
民間団体に
おすすめします。



- ・ 老朽化した既設浄化槽やその電気設備をアップデートして、長く使っていきたい
- ・ 現在使用している浄化槽を現況に合わせて、コンパクト化したい
- ・ ブロウやポンプなどにかかる電気代を節約し、浄化槽のランニングコストを低減したい
- ・ CSRとして低炭素社会の実現への取組みを重視している

支援内容の例

事例①：N県A社様

<補助内容>
101人槽の旧構造基準型
合併処理浄化槽から
125人槽の大臣認定型
合併処理浄化槽への交換



事例②：O県B社様

<補助内容>
・ ブロウのIE1モーター搭載機種から
IE3搭載機種への改修(写真)
・ 旧式の放流ポンプから
最新の高度化ポンプへの更新



ぜひ
ご検討
ください



事業概要

背景・目的

- 集合住宅等に設置されている大型浄化槽の処理工程上で使われている機械設備（ブロワ、水中ポンプ、スクリーン等）の省エネ化については、小型浄化槽と比べて比較的遅れている。
- 既設の中・大型浄化槽に付帯する機械設備を省エネ改修や、古い既設合併処理浄化槽を交換することで、浄化槽システム全体の低炭素化が大幅に図られると同時に、老朽化した浄化槽の長寿命化を図る。

事業概要

- ① 51人槽以上の既設合併処理浄化槽にかかる、省CO₂型の高度化設備（高効率ブロワ、インバータ制御装置等）の改修について、1/2を補助する。
- ② 平成12年以前に設置された建築基準法に定める旧構造基準及び新構造基準の浄化槽（ブロワを使用するものに限る）のうち60人槽以上の既設合併処理浄化槽の交換については、構造や本体のコンパクト化からエネルギー効果の高いと見込まれる浄化槽について、1/2を補助する。

事業スキーム



期待される効果

- エネルギー起源二酸化炭素排出抑制（5万t-CO₂（2017年度削減見込）→ 12万t-CO₂へ（2022年度削減目標））
- 地域の低炭素・自立分散型生活排水処理システムの構築の促進



省エネ型浄化槽システム導入推進事業

イメージ

- ・ 21人槽以上の合併処理浄化槽設置状況 (H29末) 約28万2千基
 - ・ うち101人槽以上の合併処理浄化槽 (H29末) 約7万9千基
 - ・ そのうち旧構造基準型合併処理浄化槽 (H29末) 約6千基、新構造基準型合併処理浄化槽 約7万3千基
- ※60人槽以上からを対象とする

浄化槽の中でも中・大型浄化槽では、好気性微生物へ酸素供給するための送風設備（ブロワ）、混入物を除去するスクリーン、水中ポンプなど、処理工程上様々な電気・機械設備が必要

← エネルギー起源
CO₂排出源

浄化槽（中・大型浄化槽）省エネルギーシステム導入支援

浄化槽設備では
浄化槽本体の入替え



大型浄化槽の機械設備の例

<高効率ブロワ>



<インバータ制御装置>

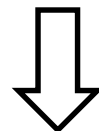


<スクリーン>



○高効率ブロワ等

○インバータ装置、タイマー等の
省エネ運転設備
など



エネルギー起源CO₂の排出抑制